



- 会長挨拶
- 第13回通常総会・記念講演会
- 委員会活動報告
- 新入会員紹介

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp  
■URL/<https://www.misa.or.jp> ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハルウコミュニケーションズ株式会社



## 第13回通常総会 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 **阿部 嘉男**



第13回通常総会の開催に際し、一言ご挨拶申し上げます。本日は、大変お忙しい中、ご来賓の皆様をはじめ、多くの会員の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございます。平素より当協会の活動にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナの影響も大分収まり、今回の通常総会もほぼ感染前と同様の形で開催できることを、大変喜ばしく思っております。

本総会では、令和5年度の事業結果および収支決算、並びに役員補選についてご審議いただきます。また、令和6年度の計画および収支予算についてもご報告いたしますので、ご承認のほどよろしくお願いいたします。

さて、世界情勢はロシアのウクライナ侵攻が長期化しており、加えてイスラエルとハマスなど、不透明な状況が続いています。国内では少子高齢化が問題となっており、とりわけ東北はその影響を強く受けています。消滅可能性自治体が発表され、東北地方の多くの自治体はそのリストに入っている状況です。秋田県では、秋田市以外の全ての自治体が含まれていました。

人が減ってもいかに幸せに豊かに暮らせるか、それを本気で考えていく必要があると強く感じています。そのためには、DXの取り組みが必須であると考えています。国も遅まきながらデジタル化を推進しており、宮城県でも村井知事が先頭に立ち、DX化を進めています。これを実現するためには、私たち情報サービス産業協会が先導し、リードしていくことが重要だと考えております。

## 第13回通常総会開催報告

去る6月12日（水）午後2時より一般社団法人宮城県情報サービス産業協会の第13回通常総会が仙台市「TKPガーデンシティ仙台」において開催されました。

総会は阿部会長の開会挨拶、宮城県企画部副部長 川越開氏よりの来賓挨拶のあと、阿部会長が議長に選任され、正会員数195社、出席会員数127社（内委任状提出28社）の1/2以上の出席により議事に入り、いずれも提案通り承認されました。なお、役員補選では、田代紀生氏（システムニコル(株)顧問）の理事退任に伴い、今野寿道氏（(有)マインドアクセス代表取締役）が新理事に選任されています。

### （決議事項）

- 第1号議案 令和5年度事業報告について
- 第2号議案 同上 収支決算及び会計監査結果について
- 第3号議案 役員補選について

東北大学では、青葉山にナノテラス・次世代放射光施設が竣工し、4月から稼働しています。また、産業拠点形成連携“絆”特区として、宮城県と熊本県が選ばれ、半導体関連産業の振興が図られています。新たな産業集積を支える外国人材の受け入れなどが課題ですが、熊本県情報サービス産業協会の足立会長からも連携の打診があり、協力していく予定です。

今年度のMISAの活動は、第9次中期計画の2年目にあたり、人材の育成・確保を重点に置くとともに、生成AIなどの活用が当たり前となる今、業界自体が変化に迅速に対応し、新たなビジネスの創出に努めるための計画を策定しております。会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日は、本総会終了後に、コープ東北サンネット事業連合前常務理事の河野様より「コープ東北のDXへの取り組み」というテーマでご講演いただきます。会員の皆様から、ユーザーサイドのお話も聞きたいという要望がありましたので、河野様にご登壇いただくことになりました。河野様、お忙しい中、誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

また、講演後には恒例の交流会も予定しておりますので、有意義な交流の場としてご活用いただければと思います。

最後になりますが、ご参会の皆様のみますますのご繁栄を祈念し、総会開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。今日はよろしくお願いいたします。

### （報告事項）

- 第4号議案 令和6年度事業計画について
- 第5号議案 同上 収支予算について

通常総会に引き続き、生活協同組合連合 コープ東北サンネット事業連合会 前常務理事 河野敏彦氏による、「コープ東北のDXへの取り組み」と題する講演会が開催されました。（講演会の一部別掲記事参照）

その後、200名を超える出席者のもと、コロナ感染拡大前のように立食による恒例の交流会が開催されました。交流会は、木村副会長の開会挨拶、東北経済産業局地域経済部 小林和昭部長、仙台市経済局イノベーション推進部 白岩靖史部長のお二人からのご来賓挨拶、そして佐藤理事による乾杯の発声に引続いて懇談に入り、午後6時半すぎ、今野新理事のなかじめですべての行事を無事終了しました。

## 来賓挨拶

宮城県企画部 デジタル政策推進監兼企画部副部長 **川越 開氏**



本日、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会第13回通常総会が開催されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

貴協会におかれましては、阿部会長様をはじめ、宮城県のICT産業の振興と地域社会の発展に多大なるご尽力をいただき、これまでの精力的な活動に深く敬意を表します。また、私どもの各種施策の推進に対して、日頃より格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

今年度、県では3つの重点項目から成る予算に基づいて県政を推進してまいります。

1.人口減少対策、2.DXの推進、3.半導体関連産業の振興

これら3本柱で予算を組み、取り組みを進めてまいります。いずれのテーマも、貴協会の皆様と共に力を合わせて取り組んでいく必要があると認識しています。

DXにつきましても、県民サービス、行政、産業分野において取り組みを強化してまいります。特に県民サービスのDXでは、防災分野などにおいて、マイナンバーカードを活用したデジタル身分証アプリの導入を重要なテーマの一つとして進めています。

本日は「みやぎ県民防災の日」であり、昭和53年の宮城県沖地震から46年が経ちました。本日も午前9時に震度6強の地震が発生したという想定のもと、知事を

## 来賓挨拶

東北経済産業局 地域経済部長 **小林 和昭氏**



本日、宮城県情報サービス産業協会第13回通常総会が無事に終了しましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、日頃より経済産業行政へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会は発足以来、地域社会の高度情報化の促進と産業・経済の発展に大きく貢献されてきました。これまでのご尽力に心より敬意を表します。

さて、最近では、高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済に前向きな動きが見られます。このチャンスを見逃さず、成長型経済への転換を実現するため、政府は国内投資、イノベーション・生産性向上、賃金・所得アップの3つの好循環を目指しています。

日本は他国に比べ人口減少が急速に進んでいます。そのため、成長経済を実現するには高付加価値化による1人当たりの生産性向上が急務です。地域企業のデジタル化やDXの推進は必須であり、経済産業省としてもこれらの後押しするため、DX関連の国内投資拡大や人材育成に取り組んでまいります。

本部長とする災害対策本部を設置し、関係機関と一体となって総合防災訓練を実施しています。災害はいつ発生するかわからないため、県としては大規模災害への備えとして、デジタル身分証アプリを活用し、発災時に県民が円滑に避難できる体制を構築してまいります。

このアプリは、災害時に機能を発揮させるために、普段から慣れ親しんでいただく必要があります。例えば、地元の商店街でポイントを使用できるサービス、健康増進のためのウォーキング促進サービス、フードロス削減サービスなど、日常的に使えるミニアプリを搭載します。このミニアプリは第三者の事業者も開発可能ですので、多くの魅力的なサービスが生み出されることを期待しています。

また、産業分野のDXでは、デジタル人材の育成やDX関連のスタートアップ支援、中小企業の生産性向上を目指した支援など、引き続き取り組みを強化してまいります。

さらに、地場産業と県内IT企業をつなぐ交流の場として「OPEN INNOVATION みやぎ」というポータルサイトを開設しています。今年度はリアルなイベント、セミナーや交流会なども交えた異業種連携をさらに進めていきますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますのご発展と本日ご参会の皆様のご健勝とご活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

東北経済産業局は、地域企業や産業のデジタル化、DXの促進を重点分野として取り組んでおり、その一環として2021年度に「TOHOKU DX大賞」を創設しました。今年も募集を予定しており、4度目の実施となります。自社のビジネスモデルや業界全体の革新に関する優れた事例を表彰し、東北地域のデジタル化を促進していきます。本日ご出席の皆様やご支援先のお取り組みについてもご応募いただければ幸いです。

昨今話題の生成AI技術をはじめとするデジタル技術の進展は、生産性や付加価値の向上を通じて大きなビジネス機会を生み出し、様々な社会課題の解決に寄与します。地域経済全体がこの波に乗るためには、地域のデジタル利活用を支える皆様の役割がますます重要です。今後、会員企業の皆様から新たなソリューションが創出され、地域経済、ひいては日本全体の発展に寄与されることを期待しております。

最後に、貴協会のさらなる発展と、ご参会の皆様のご活躍とご健勝を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

## 来賓挨拶

仙台市経済局 イノベーション推進部長 白岩 靖史 氏



本日、宮城県情報サービス産業協会第13回通常総会が多くの皆様のご参加のもと、盛会のうちに終了しましたことを心よりお祝い申し上げます。また、日頃から宮城県内、仙台市内のIT技術の利用促進、普及啓発、人材育成などに多大なるご貢献をいただいておりますことに、深く御礼申し上げます。

近年、地域経済を取り巻く環境はこれまでにないスピードで変化しており、DXや生成AIの活用など、IT技術に対する関心が日々高まっています。本市でも今年3月に、経済成長に向けた戦略「仙台経済COMPASS」を策定し、その中でDXによる経済成長と暮らしやすさの向上を重点プロジェクトの一つとして掲げています。中小企業のデータ利活用の促進、デジタル人材の育成、官民連携によるデジタル技術の導入を進める上で、IT産業の皆様のご協力を得ておりますことに感謝しております。

特に、IT業界の喫緊の課題である人材確保と人材育

成においては、人財委員会をはじめとした会員企業の皆様と連携し、東北域内の教育機関を合同訪問するなど、多大なるご協力をいただいております。また、次世代の人材育成の一環として、マイスター・ハイスクールの取り組みや仙台工業高校への授業派遣などにもご協力いただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

仙台市としては、IT技術者の皆様の日々の活躍が私たちの生活やインフラ、産業を根底から支えていることを改めて認識し、急速なAIの発展や半導体需要の拡大といった大きな流れを捉えながら、仙台、宮城、東北全体の活性化に繋げていきたいと考えております。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、宮城県情報サービス産業協会のますますのご発展と、本日ご参会の皆様のごさらなるご活躍とご健勝、そしてビジネスの発展を心より祈念し、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



## 新理事挨拶

今野 寿道



新理事に就任しました有限会社マインドアクセス代表取締役の今野と申します。弊社はシステム開発会社として平成6年に設立して今年で30周年を迎えます。設立してまもなくMISAの前身団体に加入し、ほぼ歩みを共にしてきた事になります。

当初から人財育成委員会に所属し、現在も当委員会に加えて、広報委員会の副委員長を務めさせて頂いております。MISAにおいてはホームページの制作や企業データベースの構築、技術セミナーの企画など微力ながら貢献してまいりました。

少子高齢化に伴う人手不足、円安・物価高によるスタ

グフレーション、デジタル赤字の拡大など日本を取り巻く課題は山積みしています。それを解決する方策としてICT技術による企業の生産性の向上とその先のイノベーションが声高に叫ばれていますが、なかなか思うようには進んでいない現状です。

そうした中で宮城県のIT企業を束ねるMISAの役割は決して小さく無いと考えるわけですが、再来年30周年に向けて引き続き微力ながらも弊社に与えられた役割を全うしたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

## 理事退任挨拶

田代 紀生



今年の6月でMISA理事を退任しましたシステムニールの田代です。

弊社の仙台事務所はバブル崩壊直後に仙台に拠点を構えましたが、その後ITバブルとなり拠点継続が危うくなったことがありました。私の生まれは九州の宮崎、初めて職に就いたのが神奈川で、当時は宮城に頼れる友達もいませんでした。そこで新規業務獲得の足掛かりになればと思い20数年前、マンションの一室にあったMISA事務局を訪ねMISA会員となりました。

MISA会員にはなったもののITバブルもなんとか乗り切り、また私も横浜への単身赴任となったため会員のまま数年間はMISAからのメール受信のみで何もせずいました。

ある時、MISA会費を払うだけ勿体ない、社員の教育だけでもMISAを活用しない手はないと思い、釣り仲間のついで教育に関する委員会（人材育成委員会）に入ることにしました。この委員会への参加がきっかけで単身赴任が継続しているにも関わらず福利厚生委員会へ参

加、更には広報委員会へも参加し積極的に活動しました。福利厚生委員会への参加は、フットサルや釣り同好会への参加者を増やしIT業界に多いメンタル疾患者を減らしたい、という思いからです。参加委員会を増やした甲斐もあり多くのMISA会員の方々と親しい仲になりました。

2011年3月の東日本大震災でもMISAつながりでボランティア活動を始め、数年間色んな貴重な経験をさせて頂き、今でもこの時のつながりを大切にしています。

正直、MISAの活動をしていても実際の収益につながることは少なかったかもしれません。しかしながらMISAへの参加で、多くの会員とのつながりを持つことが、今後このことを大切に、少しでも世の中に貢献し続けて行けたら、と思っています。

完全なリタイアはもう少し先になりますが、それまではできる限りMISAのお手伝いをさせていただきますので、それまでは皆さま引き続きよろしくお願いいたします。

## 第13回通常総会 記念講演会 『コープ東北のDXへの取り組み』

生活協同組合連合会 コープ東北サンネット事業連合 前常務理事

システム部・物流本部 管掌 **河野 敏彦 氏**



2024年6月12日、宮城県情報サービス産業協会の講演会が開催され、生活協同組合連合会 コープ東北サンネット事業連合 前常務理事 システム部・物流本部長 河野敏彦氏が「コープ東北のDXへの取り組み」について講演しました。

### 講演内容の概要

河野氏は、コープ東北のDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みの舞台裏を語り、成功と失敗、そして未来への挑戦について具体的な事例を紹介しました。最新技術を駆使した配達コースの最適化や、AIを活用した注文予測型レコメンドエンジンの導入など、システム開発のプロフェッショナルならではの視点から解説が行われました。

### 自己紹介とDXの歩み

河野氏は1984年にみやぎ生協に入社し、システム開発に従事してきました。電子発注システム（EOS）の導入から始まり、FAXや電話が主流だった時代に大型コンピュータを導入し、昼夜を問わずシステム運用に取り組んできた経歴を語りました。

### DX推進の具体例

河野氏は、コープ東北のDX推進の具体的な取り組みとして以下の事例を紹介しました。

#### 1. \*\*コープシェフ\*\*

レシピと食材を一気に注文できるサービス。初めは成功しませんでした。ユーザーに特定のレシピを提案することで注文率を向上させる試みを行っています。

#### 2. \*\*コープアプリ\*\*

上海のキャッシュレス事情を参考に開発されたコープペイアプリ。40万ユーザーが利用しており、属性に応じた割引機能や簡易ログイン機能を搭載しています。

#### 3. \*\*予測型レコメンド\*\*

AIが過去の購入履歴を元にユーザーに適切な商品を提案するシステム。これにより注文率が大幅に向上し、顧客の満足度が高まりました。

### 自己紹介



システム歴通算25年  
コボルからAIまで  
コープアプリを開発  
DXにもチャレンジ

1984年 みやぎ生協へ移籍  
1990年 システム室長 全国システム委員会 →93年部長  
1995年 コープ東北設立  
2000年 eふれんず、DWH全国で取り組む（全国システム委員会）  
2002年 共同購入商品本部長 東北六県共同企画 2004-08で六県  
2012年 物流本部長・品質管理本部長  
2011TKLC、2015CTDC、2017CTCC、2018CTVC  
2014年 コープ東北サンネット事業連合 常務理事  
システム部管掌、物流本部長 兼 品質管理本部長 兼 エネルギー事業本部長 兼 事業企画室長  
2016年 クイックプロ2稼働、2019年 コープペイ稼働  
2020年 兼務：日本生協連dx-coopプロジェクトリーダー  
→ 22年 DXアドバイザー  
2024年 退任 → 「(株)東北ロジサービス」社長継続 2022-

Copyright © COOP TOHOKU. All Rights Reserved.

#### 4. \*\*AWS簡易管理システム cloudnatix\*\*

AWSの監視と管理を一元化するシステム。コスト削減と効率化を図り、異常の早期発見と迅速な対応が可能になりました。

#### 5. \*\*配達コース最適化\*\*

AIを使って配達コースを最適化し、効率化を図る取り組み。この取り組みにより配達の効率が大幅に向上しました。

### 課題と教訓

河野氏は、DX推進における課題と教訓についても言及しました。DX推進には、ユーザーのニーズに基づいたアプローチが重要であり、アジャイル開発の手法を取り入れ、小さなチャレンジを積み重ねることが大切だと強調しました。また、実験開発には高い費用がかかるため、その効果を見極めることが重要だと述べました。

### 未来への展望

河野氏は、DX推進の重要性を再度強調し、今後もアジャイル開発を進め、ユーザーのニーズに応えるシステ

ム開発を続けていく意向を示しました。新しい取り組みを積極的に実践し、広めることが未来を作るために重要だと強調しました。

### まとめ

本講演では、コープ東北のDXへの取り組みについて具体的かつ詳細に語られ、多くの参加者にとって非常に有益な内容となりました。

講演後には交流会も開催され、リアルな場での熱い交流が行われました。





東北電力グループ

# I T で、 感動を、 ともに。

私たちTOINX（トイックス）は、ITで実現する新たな価値を社会に届け続けます。

ともに手を取りあい、どんな時も誰よりも近くで、しっかりと支え、キッチリ守ります。

さらに、一歩踏み込んだ提案をし、期待をこえる感動を届けます。



トイックス 株式会社トイックス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北

TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

委員会報告

# 2024年度 MISA 新入社員研修

人財委員会

人財委員会育成Gでは、MISA会員企業の中核となり将来を担うシステムエンジニアの育成を促す事業活動の一環として、「新入社員研修」を開催しています。

- ①ビジネス基盤養成：働く姿勢・ビジネスマナーやコミュニケーションなどの人間力育成
- ②システム開発技術者育成：Java・DB・Servletを題材にシステム開発基礎の体系的学習
- ③業務システム開発プロジェクト演習：要件定義から一連の開発工程に取り組む

「②システム開発技術者育成」では、コース冒頭に「ペーパープロトタイピング」を初導入しました。開発言語を学ぶ前に、発注者役への模擬ヒアリング→要件の簡易的な整理→画面遷移や機能をプログラム言語を使わず画用紙等で表現する演習です。これまでも、単なる技術知識の習得ではなく、活用場面を意識した技術・手法を学ぶことでスキル定着を図ってきましたが、ペーパープロトタイピングに取り組んだことにより、ユーザ目線で開発を行う意識、機能実現のために技術を身に付ける意識が高まり、高いモチベーションのまま講義・演習が進行しました。

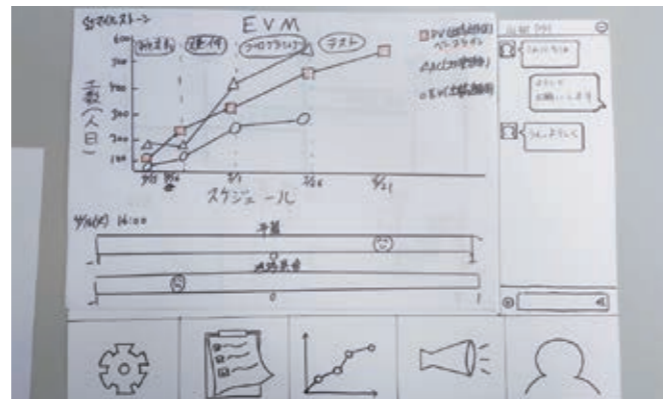
受講後のアンケートでは受講者満足度90%以上、企業担当者満足度100%の評価をいただきました。また、最終発表会では、60名を超える受講企業関係者の皆様にご来場いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

なお、2024年度は、想定をはるかに上回るお申込みをいただき、急遽ビジネス系コースの短縮版「新入社員基礎研修」を別日程で特別開催いたしました。(4月8日～10日、4社15名参加)

新入社員の皆さまの、今後のご活躍を期待しております。

- 開催日 2024年4月3日～6月21日 (55日間)
- 会場 仙台市中小企業活性化センター セミナールーム
- 参加者 ①ビジネス基盤養成 7社51名  
②システム開発技術者育成 9社44名  
③業務システム開発プロジェクト演習 9社44名

※2025年度は、受講企業からのご要望等をもとにカリキュラムを更新のうえ、2024年12月募集開始の予定です。



委員会報告

# 第20回 MISA 会長杯フットサル夏大会

福利厚生委員会

第20回MISA会長杯フットサル夏大会を7月20日(土)にMIFA Football Park Sendaiで開催しました。炎天下での開催となりましたが初参加チームを含め、参加16チーム総勢170名と活気のある大会となりました。

午前は予選グループリーグを行い、午後からは上位・下位のチームに分かれて決勝トーナメントを行いました。上位トーナメントの結果は予選リーグから決勝まで負けなしで(株)テレコムリサーチが優勝を収めました。

試合後は恒例のお楽しみ豪華抽選会、参加全チームでの集合写真を撮影し、盛況のうちに大会を終えることができました。

ご参加いただいた皆様、応援に来ていただいた皆様、有難う御座いました。

引続き皆様が安心・安全にお楽しみ頂ける楽しい大会となるよう委員会一同趣向を凝らして参ります。

次回は10月に秋大会を予定しております。ぜひ多くのチームの参加申し込みをお待ちしております。



### ◆ 上位トーナメント結果 ◆



(株)テレコムリサーチ



(株)トインクス

### 3位タイ



コンピューターマネージメント(株)



SCSK Minoriソリューションズ(株)

委員会報告

# MISA 真鯛釣り交流会開催

福利厚生委員会

■開催日：2024年6月16日（日）

■大物賞

優勝：日立Astemo仙台(株) 鈴木雄也 様（真鯛72センチ）

準優勝：トライアロー(株) 富田康宏 様（真鯛53センチ）

3位：テクノウイング(株) 後藤和広 様（ワラサ2本）



優勝 鈴木様



全体集合写真



真鯛72センチ！ お見事！

天候にも恵まれ非常に釣り日和となりました。合計で真鯛5枚、ワラサ3本、花鯛1枚、アジ数本、ホーボー数本、カナガシラ数本、サバ無限（笑）という釣果でした。

サバが無限に釣れるという鉄壁なディフェンスの中、真鯛の顔も数枚見ることができ、朝4時から13時迄釣りを楽しむことができました。ご参加頂きました皆様、お疲れ様でした。

委員会報告

# 第46回 MISA 親睦ゴルフ大会

経営委員会

■開催日：2024年4月20日（土）

■場 所：松島国際カントリークラブ

第46回MISA親睦ゴルフ大会は、13組48名（内、初参加9名）が参加し、「松島国際カントリークラブ」にて開催しました。

当日は晴天でしたが風が大変強く、ショット、パットに皆さん苦労されていたようですが、日頃の腕前を競い合い和気あいあいと会員間の親睦を深めるゴルフ大会となりました。

### 【成績】（敬称略）

- 個人戦 NET HC
- 優勝：木村 香次 (73.2) (28.8) 日鉄ソリューションズ東日本(株)
- 準優勝：菅野 直 (73.4) (21.6) パイスリープロジェクト(株)
- 第3位：鈴木 則行 (73.6) (26.4) (株)クロスリード
- 第4位：佐藤 徳幸 (73.8) (25.2) 東北アースシステムズ(株)
- 第5位：中嶋 竜大 (73.8) (25.2) (株)ナナイロ

- 団体戦（上位3名のNET合計） NET合計
- 優勝：木村 香次、菅野 直、根津 宏之 (225.8)
- 準優勝：九萬原 敏巳、佐藤 英夫、飯塚 達也、田村 一崇 (227.4)
- 第3位：鈴木 則行、安保 真澄、本間 圭一、小林 貴之 (227.4)

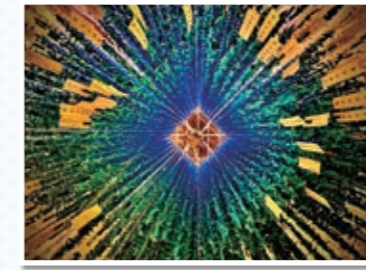


## MISAフォトコンテスト結果報告

MISA会報第56号フォトコンテストに、会員18名43作品のご応募をいただきました。テーマ：「宮城の〇〇」とし、グランプリ、準グランプリ2作品と佳作15作品が決定いたしました。グランプリ作品には商品券、準グランプリ作品と佳作にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。



準グランプリ



想ひよ届け サイバーコム(株) 佐々木 孝一郎 様



復興へ心ひとつ (株)ビッツ 北村 豊様

佳作 (順不同)

宮城の冬暁～松島～ (株)トインクス 武藤 浩司 様



見納めサッポロビール園ピオトーブ (株)東北システムズ・サポート 山内 祐治 様



シャレーポピーの丘で テクノウイング(株) 兼平 智子 様



夕焼け 与平沼 (株)トレック 柴崎 健一 様



山元町のひまわり畑 (株)SJC 庄子 幸太郎 様



5年振りの仙台七夕 (株)アート・システム 鳥澤 強志 様



松島円通院2 (株)アート・システム 鹿目 仁 様



石巻 日和山公園 (株)アド・エータイプ 菅原 涼 様



飛行機雲と夕暮れの釜房ダム 日立Astemo仙台(株) 萱場 史成 様



宮城の紅葉 (株)インターコムR&Dセンター 鈴木 貴 様



サッポロビール園のハスの花 システムニコル(株) 田代 紀生 様



観音様の胎内 (株)アイエスピー東北 土井夕 香里 様



千羽鶴流し(仙台七夕) (株)アド・エータイプ 小野 昌幸 様



宮城の春・青葉まつりの定禅寺通り (株)フジビジネスセンター 鹿野又 寛 様



宮城の春ツーリング1 (株)シーエスシー 有馬 束留 様



## 会員異動状況 (令和6年5月1日以降の入会関係)

■ 正会員-入会

■ 賛助会員-入会

会員数 (正会員……195社 賛助会員……39社)

入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
5月7日	(株)OPENER (営業 原澤 侑希)	〒372-0011 群馬県伊勢崎市三和町 2742-3 TEL 0270-23-0616 FAX 0270-21-3999
5月15日	One 人事(株) (仙台支社長 猪狩 潤一)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-3-10 仙台本町ビル 6F TEL 022-397-8010 FAX 022-397-8013
7月8日	のどかサポート合同会社 (代表社員 栗城 和也)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町 1-12-2-604 ZITEKI BASE ROOM12 TEL 022-200-6603 FAX 022-200-6605
7月24日	(株)ライカマーケティング (アカウントマネージャー 小原 啓也)	〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-3-12 Blank403 TEL 022-745-1068
6月14日	サイバーコマンド(株) (代表取締役 浦中 究)	〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-17-26 スキルインフォメーションズ 4F TEL 06-6476-9560 FAX 06-6476-9560
7月3日	(株)開日ホールディングス (代表取締役 三浦 良太)	〒984-0001 仙台市若林区鶴代町 3-15 CO_BA 3F TEL 022-399-6188 FAX 022-774-6609
8月1日	(株)アクセル・モード (代表取締役 戸村 久)	〒104-0033 東京都中央区新川 2-20-5 NEOビル 6F TEL 03-6262-8702 FAX 03-6262-8703

(敬称略)

## 令和7年賀詞交歓会 開催予告のお知らせ

- 開催日時 : 令和7年1月16日(木) 15:00~18:00
- 会 場 : TKPガーデンシティ仙台 (AER21F)

※正式案内は後日メールにてお知らせいたします。



## 編 集 後 記

昨年も暑い夏でしたが、この夏は「暑い、暑い」と口にする回数が昨年以上に増え、さらに大型台風や大雨など、災害が多かった印象があります。また、この暑さの中、パリでオリンピックやパラリンピックが開催され、日本選手の活躍に日本中が沸き立ち、寝不足になった方も多かったのではないのでしょうか。

さて、まだ暑さが続く9月9日(月)に、茨城情報サービス産業協会の松本英俊会長(デジタルサーバ株式会社 社長)をはじめ、3名の方が当協会を訪問されました。当協会からは阿部会長をはじめ、5名が会議に参加しました。主なテーマは「人財確保」であり、当協会が行っている「伊達なICT-WORK せんだい・みやぎ」の活動を中心に、その

事業運営や、会員企業と行政機関との連携による産学官連携会議を軸とした諸活動を紹介し、双方で意見交換を行いました。会議終了後、会場を牛たん屋に移し、仙台や茨城などの魅力や、双方(両協会)の課題を共有するなど、幅広く有意義な懇談を行いました。

暑かった夏も終わりに近づき、あっという間に令和6年度も半年が過ぎ、秋が訪れようとしています。MISAの委員会活動もこれからが本番ですし、1年半後にはMISA創立30周年を迎えます。事務局も各委員会活動を支援していきますので、会員の皆様と共に活動を推進していきましょう。

(事務局 K 筆、9月中旬)